2018年1月期（61期）
第2四半期決算説明会

2017年9月5日

ピジョン株式会社

（証券コード：7956）

代表取締役社長

山下　茂

© All rights reserved by PIGEON Corporation

タイトル・目次　1 - 2

2018年1月期　第2四半期業績報告　3 - 16

2018年1月期　通期業績見込　17 - 20

企業価値向上にむけて　21 - 34

© All rights reserved by PIGEON Corporation

2018年1月期 第2四半期業績報告

© All rights reserved by PIGEON Corporation

決算ハイライト（連結）

（単位：百万円）	17/1 第2四半期		18/1 第2四半期	
	実　績	前期比	実　績	前期比
売上高	46,302	99.5%	49,048	105.9%
営業利益	7,777	100.6%	9,296	119.5%
経常利益	7,671	97.4%	9,380	122.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,545	105.0%	6,493	117.1%
純資産	48,870	96.3%	56,779	116.2%
総資産	71,494	93.7%	75,437	105.5%
EPS（円）	46.30	105.0%	54.22	117.1%
BPS（円）	398.71	96.3%	462.27	115.9%
ROE＊	22.8%	—	24.1%	—
ROIC＊	19.5%	—	22.4%	—

＊ROE：自己資本当期純利益率、分母はいずれも期首･期末平均

＊ROIC：投下資本利益率（NOPAT/投下資本、税率は30.0%、投下資本は期首・期末平均を使用）

© All rights reserved by PIGEON Corporation

比較損益（連結）

（単位：百万円）	17/1 第2四半期		18/1 第2四半期			
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	摘　要
売上高	46,302	100.0%	49,048	100.0%	105.9%	
売上原価	24,743	53.4%	25,277	51.5%	102.2%	
売上総利益	21,559	46.6%	23,770	48.5%	110.3%	
販管費	13,781	29.8%	14,474	29.5%	105.0%	■主な販売費及び 一般管理費の増減 人　件　費　＋106百万円 販売企画費　＋185百万円 地 代 家 賃　＋100百万円 広告宣伝費　＋　60百万円
営業利益	7,777	16.8%	9,296	19.0%	119.5%	
営業外損益	▲106	—	83	0.2%	—	
経常利益	7,671	16.6%	9,380	19.1%	122.3%	
特別損益	52	0.1%	47	0.1%	89.1%	
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	0.2%	110	0.2%	99.8%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,545	12.0%	6,493	13.3%	117.1%	

© All rights reserved by PIGEON Corporation

事業セグメント別売上高（連結）

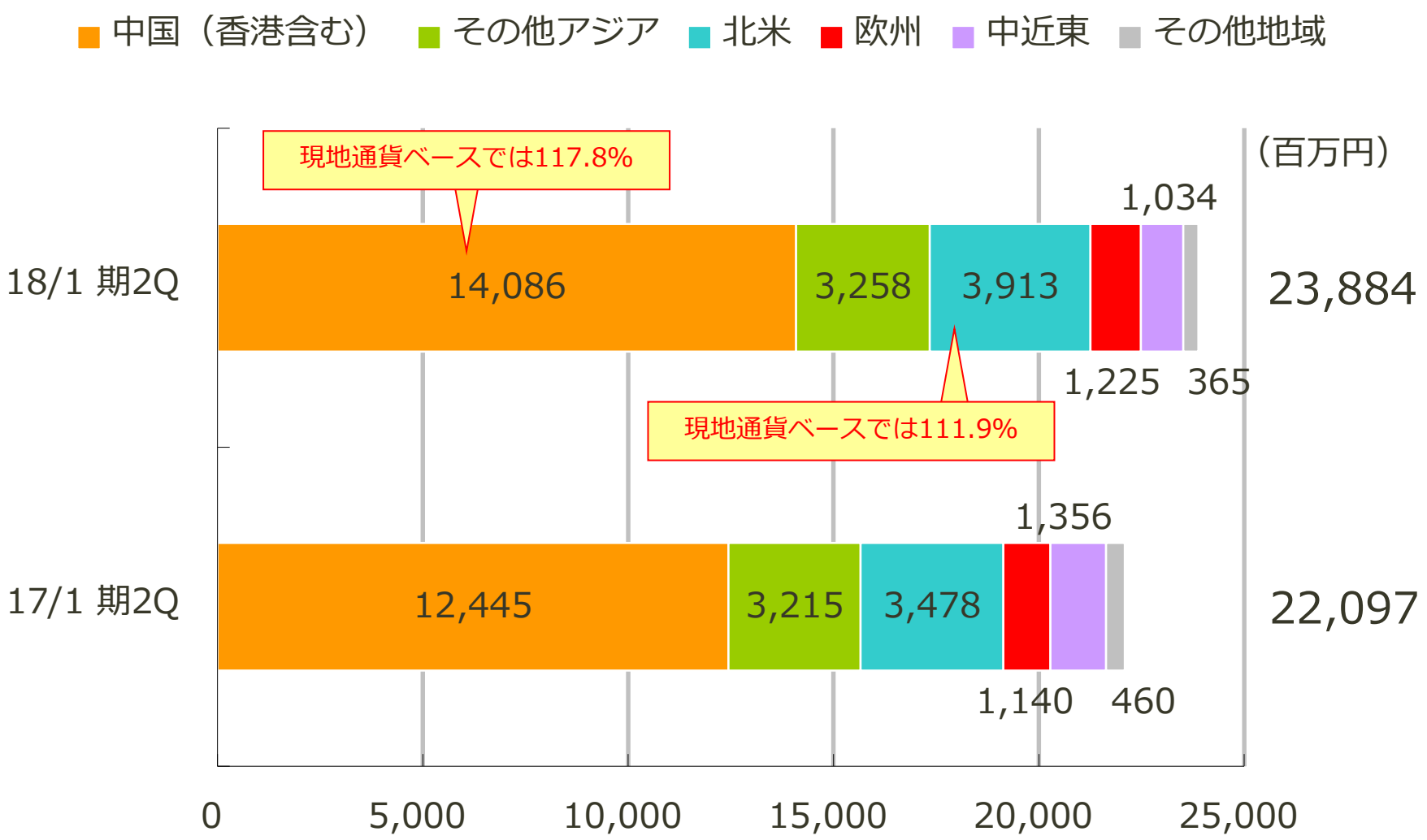
（単位：百万円）	17/1　第2四半期				18/1　第2四半期				
	金額	構成比	総利益率	セグメント利益(調整後)	金額	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
連結計上額	46,302	100.0%	46.6%	7,777	**49,048**	**100.0%**	**105.9%**	**48.5%**	**9,296**
国内ベビー・ママ事業	16,365	35.3%	46.3%	2,503	**17,302**	**35.3%**	**105.7%**	**48.8%**	**3,058**
子育て支援事業	3,652	7.9%	10.4%	80	**3,759**	**7.7%**	**102.9%**	**10.0%**	**81**
ヘルスケア・介護事業	3,537	7.6%	31.7%	278	**3,446**	**7.0%**	**97.4%**	**31.3%**	**244**
海外事業	11,079	23.9%	56.3%	2,346	**12,043**	**24.6%**	**108.7%**	**56.1%**	**2,926**
中国事業	13,741	29.7%	43.7%	3,779	**15,198**	**31.0%**	**110.6%**	**46.5%**	**4,414**
セグメント間取引消去	▲2,722	▲5.9%	—	—	**▲3,355**	**▲6.8%**	—	—	—
その他	647	1.4%	15.7%	84	**653**	**1.3%**	**100.9%**	**12.9%**	**65**

※当期より、これまで調整額に含めておりました配賦不能営業費用のうち、研究・開発部門に関わる費用を各報告セグメントのセグメント利益に含めて計上しております。また、前年同期の数値も、変更後の算定方法に基づいた数値となっております。

※連結計上額のセグメント利益は調整（配賦不能営業費用の控除）を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
※連結計上額は、海外事業および中国事業のセグメント間取引消去後の金額となっております。

© All rights reserved by PIGEON Corporation

海外地域別　売上実績



※【平均レート】18/1 月期 ：1ドル112.33円　1元16.38円　←　17/1月期： 1ドル111.69円　1元17.05円

© All rights reserved by PIGEON Corporation

2018年1月期の重点課題

- **国内ベビー・ママ事業**
  - 重点6カテゴリの強化
    - ・哺乳器・乳首カテゴリにおける高い市場シェアの維持を目指した競合企業対策の徹底
    - ・さく乳器カテゴリでの高い市場シェアの維持に向けた施策・投資等
  - ベビーカー等大型商品の市場シェア向上を目指した、積極的な販売・マーケティング・投資活動の実行（目標金額シェア16%）
  - 医療従事者との協働を目指した普及活動の推進

- **子育て支援事業**
  - 事業の位置づけの明確化と、収益性改善につながる事業効率化
  - 社員の処遇改善と保育人材の確保・育成による保育サービスの品質確保
  - 危機管理の強化等、安全対策の更なる深耕

- **ヘルスケア・介護事業**
  - 販売・流通体制の整備と強化による事業成長の実現
  - 介護現場のプロと連携し、在宅介護を支援する商品コンセプト・アイデアの構築
  - 事業体制の効率化による収益性向上

© All rights reserved by PIGEON Corporation

2018年1月期の重点課題

- **海外事業・中国事業（共通）**
  - 重点6カテゴリの強化
    - ・哺乳器・乳首カテゴリの更なるシェア拡大
    - ・さく乳器カテゴリの拡大に向けた施策の実行

- **海外事業（中国以外）**
  - ランシノ事業（特に欧州市場）における
    積極的事業拡大と収益性向上
  - インド事業の事業拡大、工場稼動率改善による収益性改善
  - アフリカ等、次期中期経営計画以降の成長に向けた新規参入市場の検討

- **中国事業**
  - 購買層の拡大に伴う高成長の継続
  - ECチャネルの成長等に対応した、販売・流通体制の再構築
  - 紙おむつ事業の確実な成長

＜中国＞ECサイト

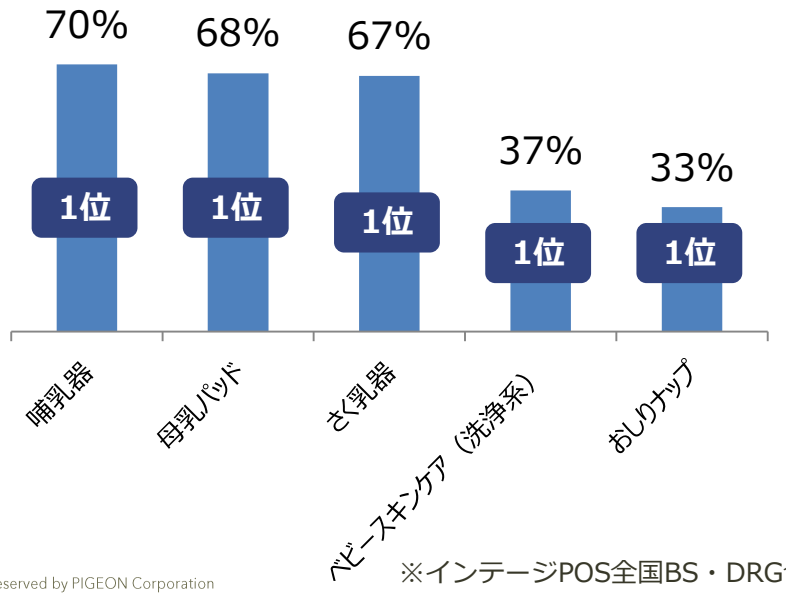
© All rights reserved by PIGEON Corporation

国内ベビー・ママ事業の状況

- 大型商品
  - ベビーカー『Runfee（ランフィ）』リニューアル発売
  - B形ベビーカー『Bingle（ビングル）』新発売　他
  - ベビーカー市場シェア向上 最高値17.4%を記録（2017年7月）
- 新商品
  - ベビー用として初めての手づくりアイス『赤ちゃんのぷちアイス』
    プレママ向け『保湿ボディケアクリーム』　新発売　他
- ダイレクト・コミュニケーション
  - プレママクラス（マタニティーイベント）9回開催。参加総数約600名
  - 医療従事者セミナー10回開催。参加総数約1,000名

Runfee　Bingle

2017年上半期マーケットシェア



※インテージPOS全国BS・DRG合算（単月）拡大推計値より

2017年秋（下期）発売の主な新商品

ベビーミルクローション
うるおいプラス

タブレットU
キシリトール＋フッ素

© All rights reserved by PIGEON Corporation

子育て支援/ ヘルスケア・介護事業の状況

子育て支援事業

- ピジョンハーツ
  - 【新規運営受託】事業所内保育施設3ヶ所　→　合計53施設（国立病院機構等除く）

ヘルスケア・介護事業

- ピジョンタヒラ
  - 主力商品の介護用『おしりふき』『口腔ケア商品』が販売好調
  - 商品ベネフィットを提案にて、小売店での販売強化
- ピジョン真中
  - 地域に密着したディケアサービスを拡充

介護商品：商品ベネフィット提案

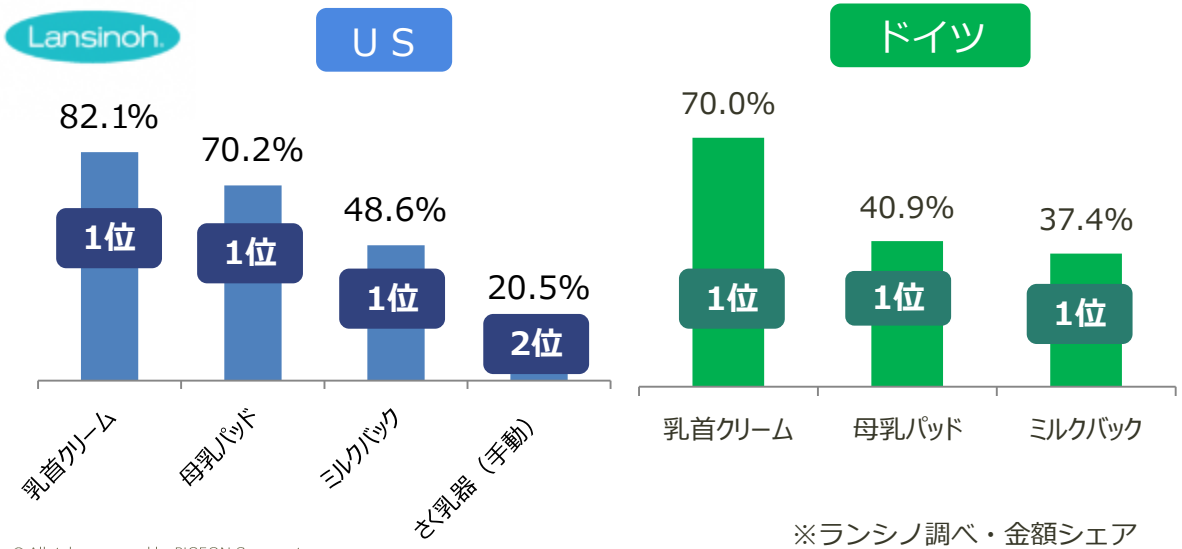
新規事業所内保育施設

© All rights reserved by PIGEON Corporation

海外事業の状況

- 欧米市場
  - 北米　：新たな販売ルートにて展開している 電動さく乳器 販売好調
    乳首クリーム、母乳パッド、ミルクバック　引き続きシェアNo.1
  - 欧州　：2017年1月稼働開始 トルコ新工場の稼働率好調
    ドイツ乳首クリーム、母乳パッド、ミルクバックのトップシェア維持
- アジア市場
  - インド　：薬局配荷店舗数増加、工場稼働率向上
  - シンガポール：管轄地域でのブランド力強化・重点カテゴリの販売向上
  - インドネシア：子会社化（2017年11月予定）
  - ランシノ中国：ECでの販売好調（EC販売構成比率：87.4%）

2017年上半期マーケットシェア



※ランシノ調べ・金額シェア

ランシノ市場状況

© All rights reserved by PIGEON Corporation

中国事業の状況

- 商品販売状況について
  - 哺乳器・乳首、おしゃぶり、授乳関連商品等 重点カテゴリの販売は順調
  - 新商品：Disneyシリーズ商品 31SKU（哺乳器、おしゃぶり、カップ等）5月新発売
  - 紙おむつ：引き続き実体店舗でのローラー作戦を実施するとともにEコマース販売強化
  - Eコマースでの販売強化（販売構成比：60期末40% → 43%へ拡大）
- ブランディング、母乳育児啓発活動
  - 現ピジョンコーナーをグローバルブランドスタイルガイドラインデザインへ変更、ブランディング活動を更に強化
  - WEBやSNS等を活用したダイレクトコミュニケーションの推進
  - 国家衛生部と共同で進める母乳育児啓発活動は継続して実施
    ⇒母乳育児相談室の設置、学会発表、育児セミナー等

紙おむつ：ローラー作戦店舗

中国での授乳室設置

© All rights reserved by PIGEON Corporation

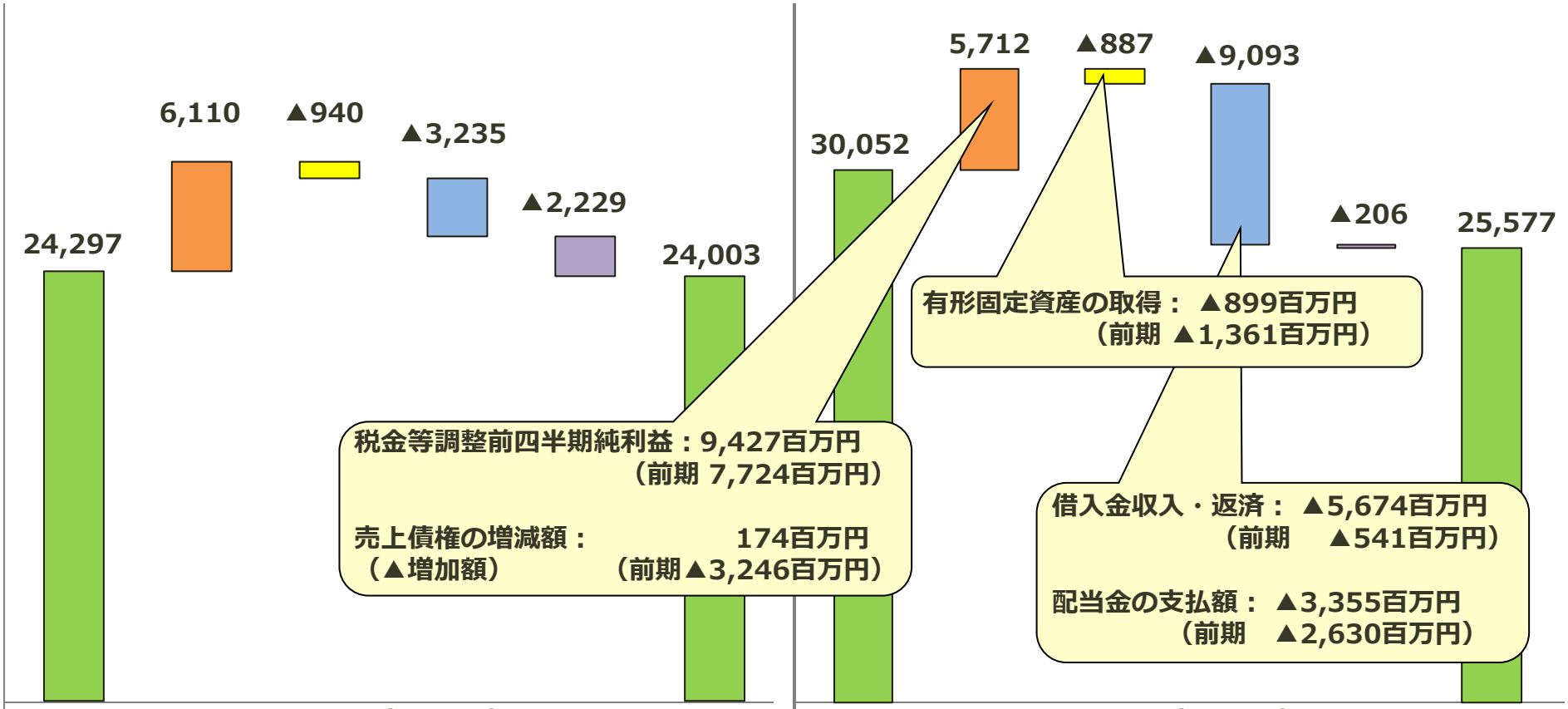
＜参考＞連結貸借対照表（ハイライト）

（単位：百万円）	17/1 期末	18/1 第2四半期		
	金額	金額	前期末比（金額）	前期末比（%）
現金及び預金	30,052	25,577	▲4,474	85.1%
受取手形及び売掛金	16,103	15,725	▲377	97.7%
たな卸資産	7,603	9,041	1,438	118.9%
支払手形及び買掛金	4,857	4,713	▲144	97.0%
電子記録債務	1,693	2,150	457	127.0%
借入金	5,699	—	▲5,699	—
純資産	53,736	56,779	3,042	105.7%
総資産	78,889	75,437	▲3,451	95.6%
自己資本比率	66.4%	73.4%	—	7.0pt

© All rights reserved by PIGEON Corporation

＜参考＞連結キャッシュフロー比較

（百万円）



'17/1期 （60期2Q）

期首残高	営業活動	投資活動	財務活動	換算差額等	期末残高
24,297	6,110	▲ 940	▲ 3,235	▲ 2,229	24,003

'18/1期 （61期2Q）

期首残高	営業活動	投資活動	財務活動	換算差額等	期末残高
30,052	5,712	▲ 887	▲ 9,093	▲ 206	25,577

© All rights reserved by PIGEON Corporation

＜参考＞投資関連指標等（連結）

（単位：百万円）	17/1 期		18/1 期	
	中間期（実績）	通期（実績）	中間期（実績）	通期（見込）
設備投資額（※１）	1,250	2,498	**1,252**	**3,700**
減価償却費（※２）	1,191	2,357	**1,206**	**2,400**
研究開発費（※３）	1,085	2,263	**1,221**	**2,500**

※１　有形および無形固定資産（長期前払費用含む）

※２　減価償却費（のれん償却含む）

※３　人件費を含めた研究開発活動にかかる費用の総額

© All rights reserved by PIGEON Corporation

2018年1月期 通期業績見込

© All rights reserved by PIGEON Corporation

2018年1月期　経営計画（連結）

（単位：百万円）	17/1 期			18/1 期（修正計画）				
	実績	構成比	前期比	期初計画	修正計画	構成比	前期比	期初計画比
売上高	94,640	100.0%	102.6%	99,800	**101,200**	**100.0%**	**106.9%**	**101.4%**
営業利益	16,015	16.9%	110.3%	17,000	**18,700**	**18.5%**	**116.8%**	**110.0%**
経常利益	16,462	17.4%	109.2%	17,000	**18,600**	**18.4%**	**113.0%**	**109.4%**
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,118	11.8%	109.0%	11,800	**13,000**	**12.9%**	**116.9%**	**110.2%**
純資産	53,736	—	105.8%	58,830	**61,171**	–	**113.8%**	**104.0%**
総資産	78,889	—	106.7%	78,984	**82,147**	–	**104.1%**	**104.0%**
EPS（円）	92.84	—	109.2%	98.53	**108.55**	–	**116.9%**	**110.2%**
BPS（円）	437.43	—	105.7%	479.12	**498.66**	–	**114.0%**	**104.1%**
ROE＊	21.8%	—	—	21.5%	**23.2%**	–	–	–
ROIC＊	19.2%	—	—	19.9%	**21.7%**	–	–	–

＊ROE：自己資本当期純利益率、分母はいずれも期首･期末平均

＊ROIC：投下資本利益率（NOPAT/投下資本、税率は30.0%、投下資本は期首・期末平均を使用）

© All rights reserved by PIGEON Corporation

事業セグメント別売上計画（連結）

（単位：百万円）	17/1 期				18/1 期（修正計画）				
	金額	構成比	総利益率	セグメント利益(調整後)	金額	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
連結計上額	94,640	100.0%	47.2%	16,015	**101,200**	**100.0%**	**106.9%**	**48.4%**	**18,700**
国内ベビー・ママ事業	31,823	33.6%	47.0%	4,818	**33,747**	**33.4%**	**106.1%**	**48.9%**	**6,056**
子育て支援事業	7,393	7.8%	10.6%	211	**7,485**	**7.4%**	**101.2%**	**10.4%**	**223**
ヘルスケア・介護事業	6,901	7.3%	31.4%	445	**7,100**	**7.0%**	**102.9%**	**31.2%**	**447**
海外事業	23,051	24.4%	55.6%	4,861	**24,644**	**24.4%**	**106.9%**	**56.2%**	**5,357**
中国事業	30,533	32.3%	44.6%	8,355	**33,925**	**33.5%**	**111.1%**	**46.0%**	**9,480**
セグメント間取引消去	▲6,337	▲6.7%	—	—	**▲6,677**	**▲6.6%**	—	—	—
その他	1,273	1.3%	15.6%	162	**974**	**1.0%**	**76.5%**	**15.7%**	**114**

※当期より、これまで調整額に含めておりました配賦不能営業費用のうち、研究・開発部門に関わる費用を各報告セグメントのセグメント利益に含めて計上しております。また、前年同期の数値も、変更後の算定方法に基づいた数値となっております。

※連結計上額のセグメント利益は調整（配賦不能営業費用の控除）を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
※連結計上額は、海外事業および中国事業のセグメント間取引消去後の金額となっております。

© All rights reserved by PIGEON Corporation

株主還元・投資関連

【第6次中期経営計画での株主還元指標】
各営業期における前期比増配および総還元性向55%程度を目標とし、
自社株買いも含め、機動的に株主還元の拡充を行う。

配当の状況	15/1期		16/1期		17/1期		18/1期	
	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (予定)	期末 (予想)
1株あたり配当金（円）	45 (15)	60 (20)	20	22	25 (記念配3円含)	28 (記念配3円含)	31	31
配当性向	49.6%		49.3%		57.1%		57.1%	

※当社は、2013年8月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
また、2015年5月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
上記1株あたり配当金のうち括弧内の数値は、当該株式分割後の株式数により換算した参考値を記載しております。

＜参考＞ 投資関連指標

（単位：百万円）	16/1期		17/1期		18/1期	
	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (実績)	通期 (実績)	中間 (実績)	通期 (見込)
設備投資額（※1）	1,773	3,036	1,250	2,498	1,252	3,700
減価償却費（※2）	1,216	2,474	1,191	2,357	1,206	2,400

※1　有形および無形固定資産（長期前払費用含む）　　※2　減価償却費（のれん償却含む）

© All rights reserved by PIGEON Corporation

企業価値向上に向けて

© All rights reserved by PIGEON Corporation

第6次中期経営計画：12の課題

© All rights reserved by PIGEON Corporation

※SCM: Supply Chain Management

PVAツリー 18/1 第2四半期

全社連結

上：61期2Q計画
中：61期2Q実績
下：60期2Q実績
単位：百万円

PVA
計画 4,088
実績 5,055
前期 4,049

NOPAT
計画 5,579
実績 6,508
前期 5,444

営業利益
計画 7,970
実績 9,296
前期 7,778

税金
計画 2,391
実績 2,789
前期 2,333

売上高
計画 47,955
実績 49,049
前期 46,303

売上原価
計画 24,939
実績 25,278
前期 24,744

販管費
計画 15,046
実績 14,474
前期 13,781

投下資本
計画 59,633
実績 58,108
前期 55,795

(参考)
2Q投下資本
計画 29,817
実績 29,054
前期 27,897

WACC
共通 5.0%

運転資本
計画 17,613
実績 17,529
前期 16,805

固定資産
計画 24,981
実績 23,495
前期 23,933

現金他資産・負債
計画 17,039
実績 17,084
前期 15,056

売上債権
計画 15,600
実績 15,914
前期 14,556

棚卸資産
計画 8,267
実績 8,323
前期 8,260

仕入債務
計画 6,254
実績 6,708
前期 6,011

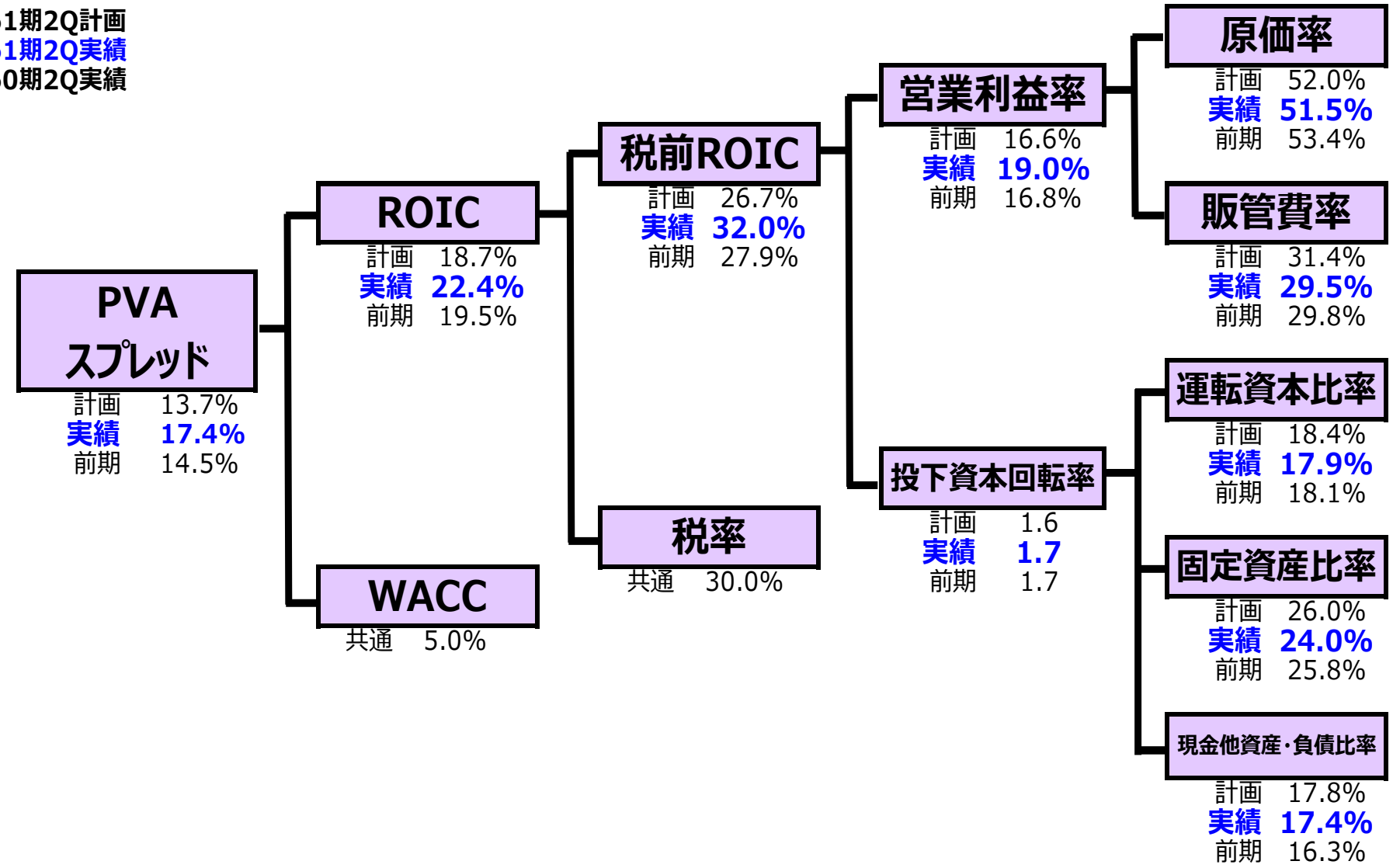
※PVA算出の際、B/S項目の各数値は期首・期末平均とし、値を1/2に調整して換算しております。

© All rights reserved by PIGEON Corporation

PVAツリー 18/1 第2四半期

全社連結

上：61期2Q計画
中：61期2Q実績
下：60期2Q実績



CCCツリー 18/1 第2四半期

全社連結

上：61期2Q計画
中：61期2Q実績
下：60期2Q実績
単位：百万円

運転資本

計画 17,613
実績 17,529
前期 16,805

売上債権

計画 15,600
実績 15,914
前期 14,556

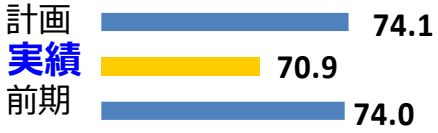
棚卸資産

計画 8,267
実績 8,323
前期 8,260

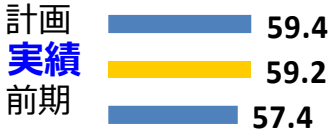
仕入債務

計画 6,254
実績 6,708
前期 6,011

CCC

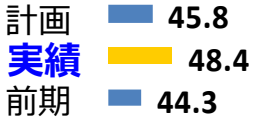


売上債権回転日数



棚卸資産回転日数

仕入債務回転日数



※CCC算出の際、B/S項目の各数値は期首・期末平均とし、値を1/2に調整して換算しております。

© All rights reserved by PIGEON Corporation

Appendix

© All rights reserved by PIGEON Corporation

第6次中期経営計画：12の課題

※SCM: Supply Chain Management

© All rights reserved by PIGEON Corporation

ESG

取組みの一部をご説明します

© All rights reserved by PIGEON Corporation

第6次中期経営計画：12の課題・ESG【環境】

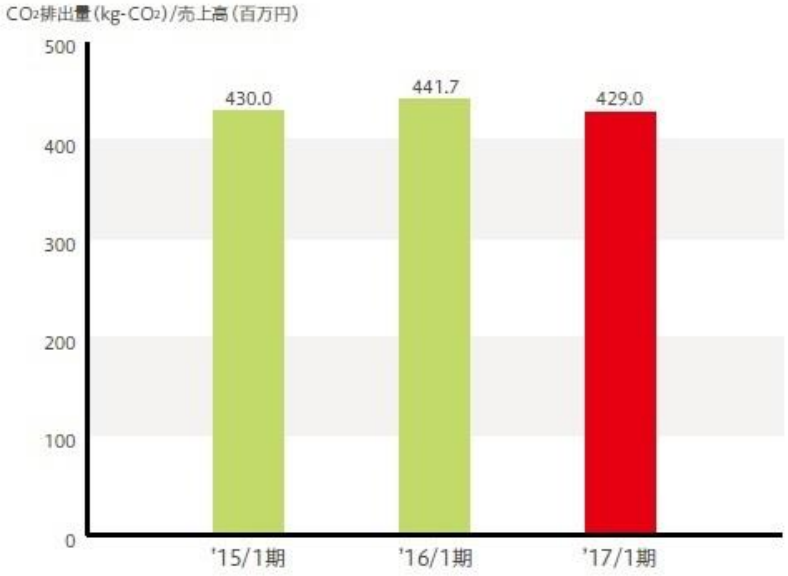
環境
Environment

気候
Climate Change

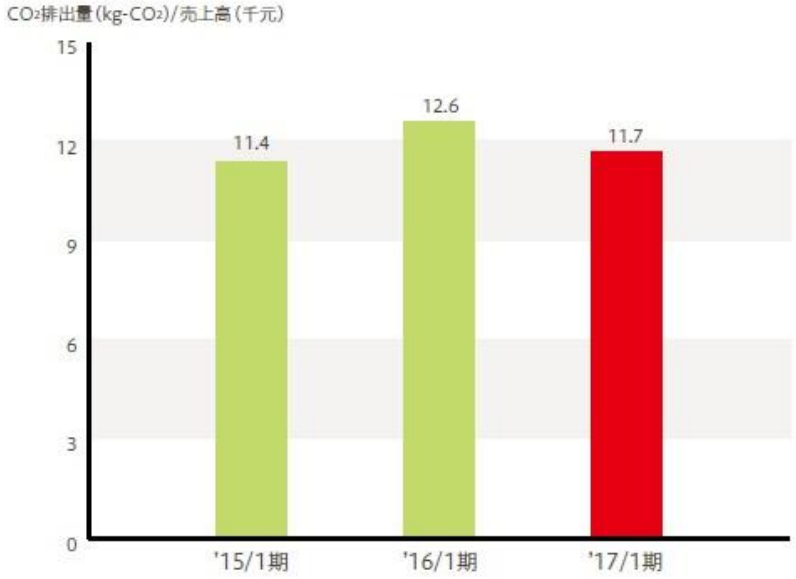
CO２削減・節電

ピジョングループでは、これまで各工場にて算出し削減に努めていた温室効果ガス排出量を全社共通の算式に統一し、CO2 削減・節電に向けた管理体制を強化しました。また中国の生産拠点では、まだ規模は小さいものの、太陽光発電や風力発電の最大限活用、光触媒の塗料の使用、「環境にやさしい工場」をテーマに掲げて取り組んでおり、全LED化による節電も進めてまいります

国内生産会社　3社合計
(ピジョンホームプロダクツ(株)、PHP兵庫(株)、PHP茨城(株))



中国生産会社　2社合計
(PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD.
PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO., LTD.)



© All rights reserved by PIGEON Corporation

第6次中期経営計画：12の課題・ESG【社会】

社会
Social

地域活動
Social Action

子育て支援の取り組み

世界各国でも、子育て支援を目的として、ピジョン社内だけでなく、一般企業内など、さまざまな場所で「授乳・さく乳室」の設置支援を行っています。
その数は、世界15 カ国約5,000 カ所に上っています（2017 年5月現在）

フィリピンでの授乳室

パナマでの授乳室

小学校の校舎寄贈

　中国では、教育環境の整っていない地域に「貝親（ピジョン）希望小学校」として、学校を建設・寄贈しています。およそ毎年1 校のペースで寄贈し、その数は、現在取り掛かっている小学校も含め計9 校になっています。こうした事業は政府からも高く評価され表彰されているほか、希望小学校の教師・生徒等との交流も継続しています

© All rights reserved by PIGEON Corporation

社会
Social

地域活動
Social Action

赤ちゃん誕生育樹キャンペーン

過去30 年間以上にわたり継続して実施している「赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」を通じて、親子の一生の思い出作りをお手伝いすると同時に、森林保護による地球環境保全の啓蒙活動にもささやかながら貢献しています。これまでに、国有林・私有地を合わせた総面積42.65 ヘクタールの土地（東京ドーム8個分以上）に、13 万本超の苗木を植えています。
うち25.37ヘクタールを占める国有林での植樹による森林貯水便益は、２リットル入りペットボトルに換算すると571 万本分の貯水量・水質浄化量に相当します

© All rights reserved by PIGEON Corporation

第6次中期経営計画：12の課題・ESG【社会】

社会
Social

地域活動
Social Action

人的資本
Human Capital

授乳期の女性を支援する活動

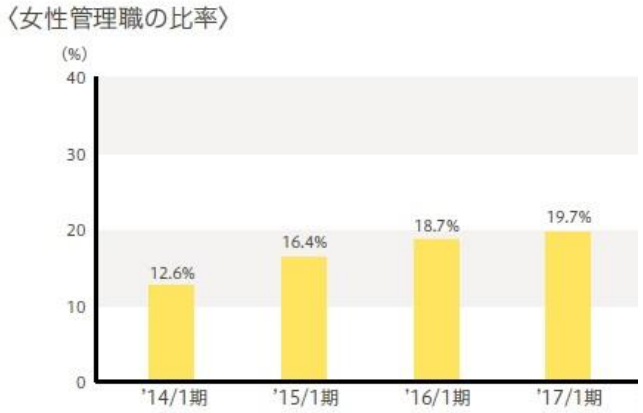
授乳期のママと赤ちゃんに携わるさまざまな専門家とともに、授乳期の課題とソリューションを考える「ピジョンにっこり授乳期研究会」を立ち上げ、授乳の大切な5つのポイントをまとめた「しあわせ授乳サポートBOOK」を年間約10万部、無償で配布しています

学生への奨学金を支給する活動

公益財団法人「ピジョン奨学財団」を設立し、将来新生児科、小児科又は産科を志す学生に対して返済の必要のない奨学金を支給する活動をしています

女性の活躍促進支援の強化

ピジョンは、女性管理職の育成にも注力しております。
現在の女性管理職比率19.7%から、さらなる向上を目指してまいります



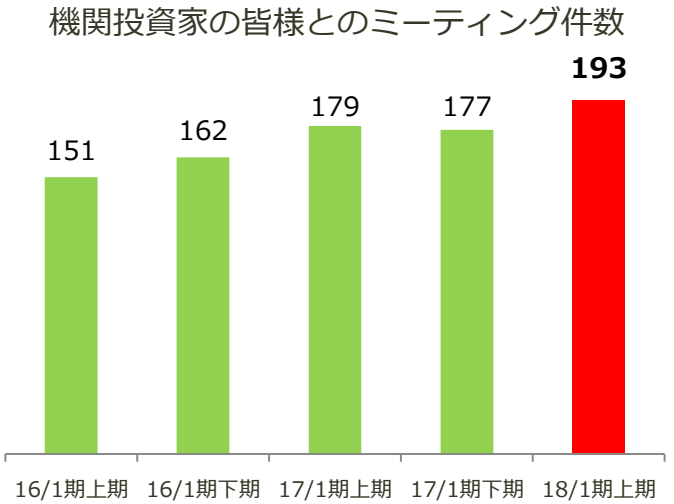
© All rights reserved by PIGEON Corporation

第6次中期経営計画：12の課題・ESG【ガバナンス】

ガバナンス
Governance

投資家の皆様とのエンゲージメント

企業価値の向上を目的とし、
投資家の皆様とエンゲージメント
（目的のある対話）を行うことで、
継続的に事業を拡大するための
「透明、公正かつ迅速果断な意思決定ができる仕組み」をより強化してまいります



トップ・マネジメントによる集合セッション

グローバルで継続的に事業を成長させていくためには、そして企業を永続させていくためには、何が必要かを、外部講師を交え、取締役・執行役員でディスカッションする場を定期的に設けています

© All rights reserved by PIGEON Corporation

企業価値の向上：当社が考える企業価値

社会価値

社会や顧客にとって
なくてはならない存在

- ソリューションと
新しい価値の提供
- 全社員及びその他ステークホルダーと共有化された理念
- 開発力とブランド力
- 社員一人ひとりの力
- 環境負荷の低減と事業以外の部分での社会貢献

経済価値

将来フリーキャッシュフローの
現在価値の合計

- フリーキャッシュフロー＝
NOPAT+減価償却費-投資
-運転資本の増加額
- 真似されにくい
ビジネスモデル・競争優位
- マーケティング力
- 管理指標と改善アクション
(PVA, CCC, ROE, ROIC)

© All rights reserved by PIGEON Corporation

将来見通しに関する注意事項

本資料にはピジョングループの「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたピジョングループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

© All rights reserved by PIGEON Corporation